

《情報公開文書》

先端巨大症に伴う続発性骨粗鬆症の病態研究：
高解像度末梢骨量定量的CT（HR-pQCT）による骨微細構造解析

研究の概要

【背景】

先端巨大症は、慢性的な成長ホルモンの産生過剰をきたします。成長ホルモンは骨を成長させますが、成長ホルモンが過剰になると椎体骨折（背骨の骨折）が起こりやすくなり、先端巨大症は、続発性骨粗鬆症の原因となります。

【目的】

この研究では高解像度CTであるHR-pQCTの解析結果と骨代謝に関連する血清マーカーの結果を用いて、先端巨大症患者さんの骨がどのように変化しているかを明らかにします。

【意義】

先端巨大症患者さんの骨の状態を知ることは、骨粗鬆症の早期発見・早期治療、有効な治療法の選択、椎体骨折の予防に重要な情報となります。

【方法】

先端巨大症患者さんと健常人の方の、患者背景情報、血液尿検査、骨密度検査、高解像度CTのデータを比較します。

対象となる患者さん

- 1) 先端巨大症の患者さん 60名
- 2) 健常人の方：長崎大学病院整形外科の臨床研究「原発性骨粗鬆症の病態解析：HR-pQCTによる骨微細構造の加齢・骨粗鬆症変化の横断・縦断調査」に参加された方の中から、1)の患者さんと年齢、性別、BMIを一致させた60名分のデータ。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景情報
- ・血液尿検査
- ・骨密度検査
- ・高解像度CT

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は2024年4月23日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2039年3月31日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 内分泌・代謝内科 氏名：原口 愛 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)7262
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 内分泌・代謝内科 担当者名 原口 愛 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095(819)7262 FAX 095(849)7270	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）	